



▲救急手当等の説明を丁寧に受けました



▼もしもの時に役立つ講習です

**熱中症予防のポイント**

- ・室温28℃を超えないようにエアコンや扇風機を上手に使いましょう!
- ・のどが渇かなくてもこまめな水分補給
- ・無理をせず、適度に休憩!
- ・日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを

消防飯館分署は、6月から仮設住宅や村立学校を中心に救命講習及び講話を行いました。参加者は、救急手当の基礎知識やAED（自動体外式除細動器）を使った基本的心肺蘇生法について学びました。講習に参加された森永安子さん（前田・八和木）は「いざという時のために、勉強しておくことは大事。力がないと出来ることがわかりました」と話しました。

また、講習では夏場に注意が必要な熱中症予防についての説明がありました。

**あなたの知識が命を救う  
救命講習**



▲グループに分かれて実際の場面を想定した演習を行い、『話の聞き方、言葉かけ』を学びました。



**第2回ゲートキーパー養成講座**

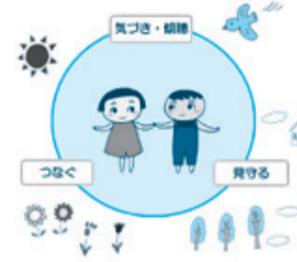
6/29

村は、長引く避難生活のなかで村民の心身状態の悪化が予想されることから、こころの病気の早期発見につなげてほしいと、1月に引き続き第2回目の「ゲートキーパー養成講座」を飯野出張所で開催しました。

村民の身近な存在である民生児童委員、各仮設管理人、生活支援相談員など約30人が参加し、事例やグループワークなどを通してこころの病気や声掛けの方法について学びを深めました。

※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげる見守る人のことです。

皆さん一人ひとりが悩みを抱えた人を支援するために、ゲートキーパーとして活動することが必要です。



▲除染に関する課題について議論しました

**平成26年度第1回までのいな除染会議**

7月25日、村は村役場本庁舎において、「いいたまでいな復興計画」に基づき安全かつ効果的な除染の推進を図るため、平成26年度第1回までのいな除染会議を開催しました。

会議の中では、除染状況の説明や今年度予定されている事業計画について検討されました。

この日、委嘱された委員の任期は平成28年3月31日までの2年間です。



▲農業再生に向けて建議を行う委員

**建議：農業再生に向けて**

7/1

7月1日、村農業委員会（菅野宗夫会長）は農業者へメッセージを送りたいと「今を精一杯そして未来へと引き継ぐ」と副題をつけ、村に対して建議をしました。

内容は、農業者同士や地域での話し合いの必要性、営農支援重点化等による帰農誘導施策、農業委員の役割・定数の3点です。

委員会では、農業をあらゆることなく、ふるさとの農地を次世代に引き継ぐための支援策を求めました。



▲助産師としての経験を話す場面もありました



▲講師の質問に、よく考える姿が見られました

**心とからだを大切に**

7/10

村は、7月10日に宗形初枝郡山市医療介護病院看護部長を講師に村中学2年生を対象とした思春期教室を村仮設中学校（飯野町）で行いました。

当日は、「思春期の心とからだ」をテーマに生命誕生の不思議、どの命も愛されるべき尊いものであることなどの講演がありました。

自分の誕生日は知っていても、生まれた時刻や体重を答えられなかった生徒たちに対し、宗形さんは「家族と自分が生まれたときの話をすることで自分は愛されていることを実感することが出来ます」と声をかけました。また、思春期の心とからだを自分自身がしっかりと理解し、何かあった時には周りに相談することが大切だと伝えていました。

参加した中学生からは「からだと心の変化について知ることができました」「将来に役立たい」などの感想が聞かれました。